

きれいな地球を 未来のために！

12月は「大気汚染防止月間」「地球温暖化防止月間」

11月3日、世界気象機関(WMO)から地球温暖化についての報告書が発表されました。それによると、温暖化の原因物質である二酸化炭素の排出量は、1990年度から日本だけでも7・4%増加となっています。現在、日本を含む先進国のさらなる取り組みの強化が求められています。

地球が危ない！

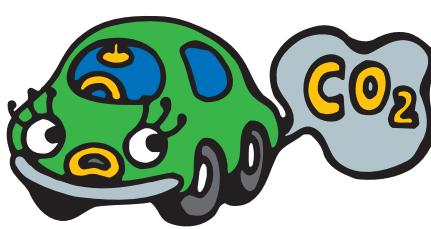
地球の平均地上気温は20世紀中に約0・6℃上昇し、1990年代は、過去1000年の間で最も温暖な10年となりました。国連機関(IPCC)の報告では、今後100年で、地球の気温は1・4～5・8℃、海面は9～88cm上昇すると予測されています。このまま温暖化が進むと、砂漠化の進展や氷原・氷床の減少など、直接的な影響のほか、食糧生産、海岸侵食などにも一層深刻な影響が出てくるものと予想されます。



原因は私たちの生活

冬は、空が澄んで星がきれいに見えるといわれます。しかし、皆さんは、一年の中でもっとも空気がよきれやすいのが冬だということを知っていますか？

冬になると、暖房器具の使用や自家用車での移動が増えたため、地球温暖化の原因となる二酸化炭素や空気を汚す物質が多く排出されるからです。



私たちにできること

家庭でできる温暖化対策は、石油・電力・ガスなどのエネルギーを効率的に使用し、その消費量を節約する生活『省エネライフ』です。

田原市では、毎月1日を田原工コライフデーと定め、エネルギーの少ない『省エネライフ』を推進しています。

また、2月(省エネ月間)には、市全体で温暖化の原因となる二酸化炭素を減らすことを目的に、市内施設の照明を消してエネルギーを節減する『ライトダウンキャンペーン』を企画しています。日ごろから、人のいない部屋は照明を消すなど『省エネライフ』を実践していきましょう。

